

# 情報セキュリティ白書 10大脅威

## 2016年

- 1位「インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用」
  - 【順位】個人1位、組織8位
  - 犯罪グループ → 個人・組織(インターネットバンキング、クレジットカード利用者)
  - 攻撃手口：ウイルス感染、フィッシング詐欺
- 2位「標的型攻撃による情報流出」
  - 【順位】個人15位、組織1位
  - 産業スパイ → 組織、個人(顧客、サービス利用者)
  - 攻撃手口：1.計画立案 → 2.攻撃準備(標的組織の調査) → 3.初期潜入(ウイルス感染) → 4.基盤構築(感染拡大) → 5.内部侵入・調査(文書の検索) → 6.目的遂行(外部へのデータ送信) → 7.再侵入
- 3位「ランサムウェアを使った詐欺・恐喝」
  - 【順位】個人2位、組織7位
  - 犯罪グループ → 個人、組織(PC、スマホ利用者)
  - 攻撃手口：メール添付、Webサイトへの誘導(リンク、広告)
- 4位「ウェブサービスからの顧客情報の窃取」
  - 【順位】個人7位、組織3位
  - ハッカー集団、犯罪グループ → 組織(Web提供)、個人(Web利用)
  - 攻撃手口：独自開発のウェブアプリの脆弱性を悪用、ソフトウェアの脆弱性を悪用
- 5位「ウェブサービスへの不正ログイン」
  - 【順位】個人5位、組織9位
  - 犯罪グループ、犯罪者 → 組織(Web提供)、個人(Web利用)
  - 攻撃手口：パスワードリスト攻撃、パスワード推測
- 6位「ウェブサイトの改ざん」
  - 【順位】個人12位、組織5位
  - 犯罪グループ、犯罪者 → 組織(Web提供)、個人(Web利用)
  - 攻撃手口：ソフトウェアの脆弱性、Webアプリの脆弱性、管理用サービスへの侵入、設定不備による不適切な機能の公開
- 7位「公式マーケットに紛れ込んだ悪意あるスマホアプリ」
  - 【順位】個人3位、組織15位
  - 犯罪グループ → 個人(スマホ利用)
  - 攻撃手口：公式マーケットに悪意あるアプリを公開、アップデート後に悪意あるアプリへ豹変、別のアプリを勝手にインストール
- 8位「内部不正による情報漏えいとそれに伴う業務停止」
  - 【順位】個人19位、組織2位
  - 組織の職員(在職者、離職者) → 組織、個人(顧客、サービス利用者)
  - 発生原因：職場環境や処遇への不満、アクセス権限の不適切な付与、システム操作記録と監視の未実施
- 9位「巧妙・悪質化するワンクリック請求」
  - 【順位】個人4位、組織18位
  - 犯罪グループ → 個人(Web利用)
  - 攻撃手口：悪意あるWebサイトの閲覧、メールに記載されたURLのクリック、悪意あるソフトのダウンロード、悪意あるスマホアプリ
- 10位「脆弱性対策情報の公開に伴い公知となる脆弱性の悪用増加」
  - 【順位】個人16位、組織6位
  - 犯罪グループ、産業スパイ → 組織(ソフト開発ベンダー)、個人(ソフト利用)
  - 要因：対策が実施されない(脆弱性対策情報を知らない。利用している製品が影響を受けることを知らない、公開された対策をすぐに実施できない)、脆弱性対策情報が悪用される

Source → <https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2016.html>

## 2015年

- 個人情報漏えい状況2014年度  
(経済産業省2014年12月)
- 1位「インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用」
- 2位「内部不正による情報漏えい」
- 3位「標的型攻撃による諜報活動」
- 4位「ウェブサービスへの不正ログイン」
- 5位「ウェブサービスからの顧客情報の窃取」
- 6位「ハッカー集団によるサイバーテロ」
- 7位「ウェブサイトの改ざん」
- 8位「インターネット基盤技術を悪用した攻撃」
- 9位「脆弱性公表に伴う攻撃」
- 10位「悪意あるスマートフォンアプリ」

Source → <https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2015.html>

## 2014年度

- 第1位「標的型メールを用いた組織へのスパイ・諜報活動」
- 第2位「不正ログイン・不正利用」
- 第3位「ウェブサイトの改ざん」
- 第4位「ウェブサービスからのユーザ情報の漏えい」
- 第5位「オンラインバンキングからの不正送金」
- 第6位「悪意あるスマートフォンアプリ」
- 第7位「SNSへの軽率な情報公開」
- 第8位「紛失や設定不備による情報漏えい」
- 第9位「ウイルスを使った詐欺・恐喝」
- 第10位「サービス妨害」

## 2013年度

- 1位「クライアントソフトの脆弱性を突いた攻撃」
- 2位「標的型諜報活動の脅威」
- 3位「スマートデバイスを狙った悪意あるアプリの横行」
- 4位「ウイルスを使った遠隔操作」
- 5位「金銭窃取を目的としたウイルスの横行」
- 6位「予期せぬ業務停止」
- 7位「ウェブサイトを狙った攻撃」
- 8位「パスワード流出の脅威」
- 9位「内部犯行」
- 10位「フィッシング詐欺」

## 2012年度